

## 八戸港沖パナマ籍貨物船海難事故に係る 市長と漁業協同組合との懇談内容について

- (1) 日 時 令和3年8月19日(木)14時20分~15時
- (2) 場 所 八戸市水産会館1階小研修室
- (3) 出席者 ・八戸みなと漁業協同組合 組合長 尾崎幸弘 ほか2名  
・市川漁業協同組合 組合長 木田茂美  
・八戸鮫浦漁業協同組合 組合長 関野 稔 ほか2名  
・八戸市南浜漁業協同組合 副組合長 風張兼一 ほか1名
- (4) 内 容 市長から挨拶と現在の作業状況の説明後、沿岸4漁協の出席者と懇談を行った。

### ○八戸みなと漁業協同組合

- ・定置網漁を9月10日から予定していたが、網を入れられる状態ではない。
- ・タコかご漁については、今日水揚げし、臭いなどが気にならなかったので市場に上場した。
- ・油についてはサンプルをとっているので、検査機関で分析をしたい。
- ・水揚げができない状況なので、産直施設の運営が厳しい。みなとつと のPRをお願いしたい。
- ・東京の方から、中央には事故があまり伝わっていないというメールをいただいた。
- ・漁業者は要請があれば、吸着マットなどを使った油処理の手伝いをする。
- ・漁業者は被害状況の写真をとるなど後々の補償交渉に備えてはいる。
- ・風評被害が心配。三沢の昼イカを市内のスーパーが買わないと聞いている。

### ○市川漁業協同組合

- ・定置網漁は8月20日頃を予定していたが、見合わせている。
- ・市川の船溜まりから南側のテトラポットに積み荷ではないかと思われる、油まみれの黒いウッドチップが大量に漂着している。
- ・水揚げができない状況が長く続くと、組合に手数料が入らないので組合の運営ができなくなる。

### ○八戸鮫浦漁業協同組合

- ・事故前に採捕した天然昆布は出荷できるが、事故後のものはダメだろう。漁期は10月一杯。
- ・貨物船がいるあたりに漁具が設置されている(カニかご)。
- ・ヒラメ釣りは、北ではできないので、南の方で行っている。

### ○八戸市南浜漁業協同組合

- ・定置網4ヶ所に油が付着しており、網に入っていた魚はサンプルをとって放流した。油のサンプルもとっている。

### ○市長から

- ・風評被害については、科学的に調べて安全・安心をPRしていく。
- ・組合の運営については、どういう方法が良いかも検討しながらサポートしていく。
- ・補償については、漁業だけでなく卸売業者や加工業者など多岐に渡ると思うので、法律の専門家とも相談しながら当たっていきたい。